

愛宕山開発用地の買取に関する要望書

愛宕山地域開発事業については、当初の目的の一つである岩国基地沖合移設事業への土砂搬出事業は昨年度をもって所期の目的を達成することができましたが、一方の住宅団地開発事業は今般の社会経済情勢の変化により多額の収支不足が見込まれることから、事業の要請者である山口県・岩国市と事業主体である県住宅供給公社が協議の結果、事業を中止し、用途を他の用途に転用することで合意するに至りました。また、県・市は「事業の赤字解消」を最優先にして、国立病院機構岩国医療センターの移転を核とする「周辺環境対策に配慮したまちづくり」に取り組むとともに、この事業がこれまで国家プロジェクトに協力してきた経緯を踏まえ、昨年11月に県から国へ協力を求めたところであります。

こうした中、本年2月に行われた岩国市長選挙後、県・市が改めて協議を行い、従来の方針を再確認するとともに、国への要望・協議は県と市が共同で行うこととするなど相互の協力関係を強化する一方、新住宅市街地開発事業の廃止に伴う説明会・公聴会の開催等の都市計画変更手続きを進めております。

ついては、こうした地元の状況を勘案の上、愛宕山開発用地の買取に関し、特段の措置がなされるよう次の事項を要望します。

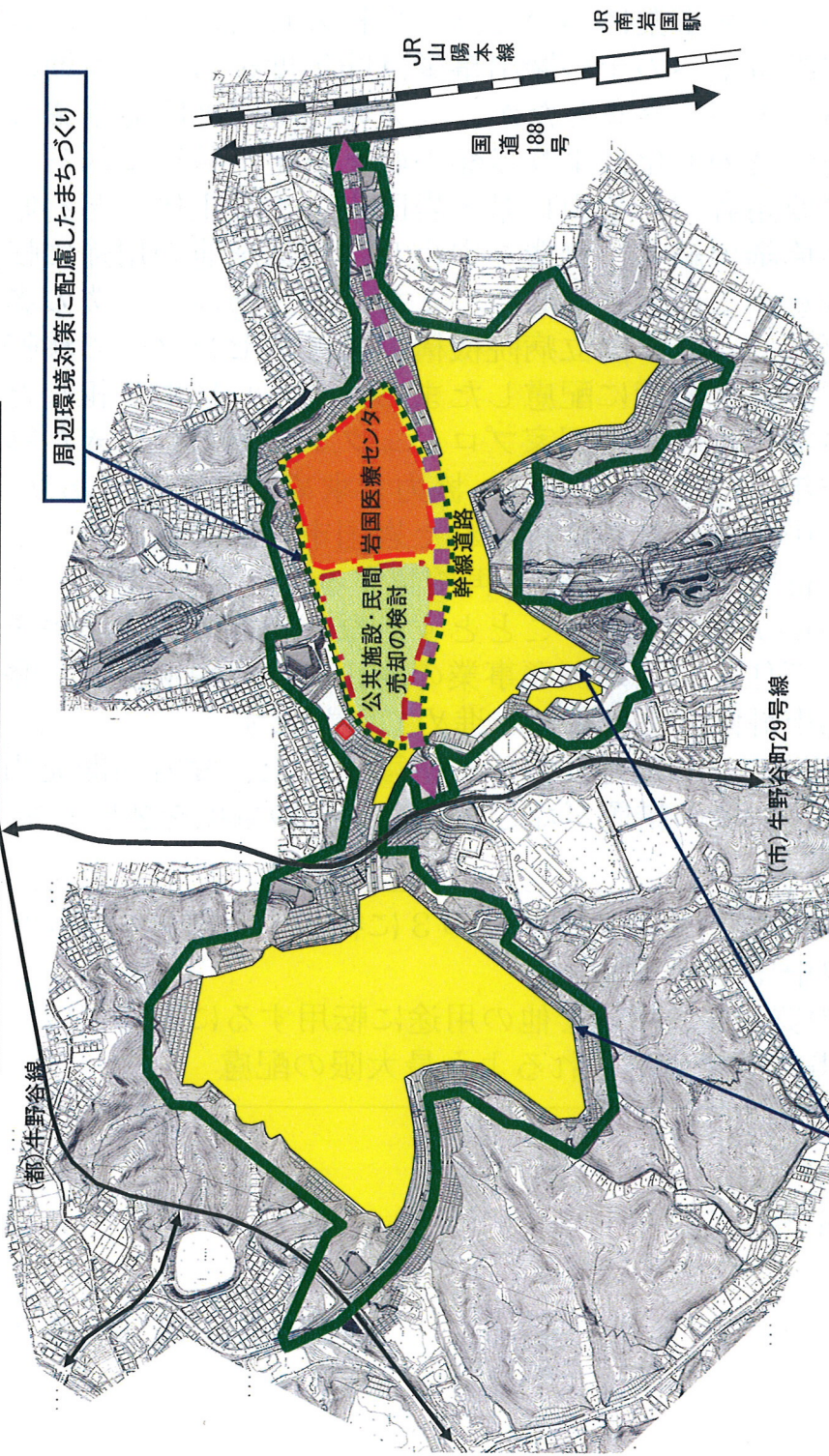
- 愛宕山開発用地の平地の約4分の3に相当する部分（周辺の残置森林を含む）の国による買取
- 国が用地の買取後、用地を他の用途に転用するに際しては、地元住民の理解を得た上で対応されるよう最大限の配慮

平成20年6月

岩国市長 福田良彦

愛宕山開発用地概要図

周辺環境対策に配慮したまちづくり



- : 愛宕山開発用地(山口県住宅供給公社所有)
- : 平地部分

国への買取要請地
(平地の約3/4に相当する部分及び周辺の残置森林)